

書き損じはがき回収に協力

日本ユネスコ協会連盟からの感謝状を
受ける原小児童会の小林奏斗会長㊟



日本ユネスコ協会連盟 原小に感謝状

原

原村の原小学
校が、書き損じ

はがきの回収に協力したとして日本ユネスコ協会連盟から感謝状を受けた。6日、諏訪

ユネスコ協会理事の清水勝喜
さん、柏木と平出信次さん
、中新田が同校を訪れ、児
童代表に手渡した。

諏訪ユネスコ協会は同連盟

が進める「世界寺子屋運動」
に取り組み、諏訪地方の学校
や公共施設などに回収ボック
スを設置して書き損じはがき
を集めている。公的教育を受
けられない世界の子どもたち
を支援する運動で、回収した
はがきは切手に交換し、同連
盟を通して各国の支援に充て
られる。

同協会によると昨年は原小
学校で約200枚、原中学校
で約100枚が回収されたとい
う。今年、原小では回収ボ
ックスを昇降口に置き、児童
会が児童たちに協力を呼び掛
けた。

代表して感謝状を受け取っ
た児童会長の小林奏斗さん
(6年)は「世界の学校に行
きたくても行かない人が、
この支援を通して行かれるよ
うになればうれしい」と話し
た。清水さんは「協力しても
らいありがたい」と感謝し、
「運動を通してユネスコの活
動を知り、興味を持ってもら
えたら」と期待していた。